

令和3年度 当初予算概要

担当：総務部財政課

令和3年度一般会計当初予算は、145億118万4千円。前年度当初予算に比べ、3億9,607万3千円（2.8%）の増となっており、6年ぶりにプラスの予算となりました。

これは、保育所等整備事業、中河原白石沖線街路事業に係る経費などの減少はあるものの、ホワイトキューブZEB化推進改修事業、私立保育園等に対する施設型給付費、ふるさと納税推進事業に係る経費などの増加によるものです。

主な事業の詳細は別紙1から6のとおりです。

令和3年度当初予算の主要事業

一般会計等

(単位：千円)

事業名	金額
○白石学びの環境づくり事業 (学力向上プロジェクト事業の充実)	10,325
○外国語・国際理解教育推進事業	32,517
○スマートインターチェンジ整備事業	77,086
○公園施設長寿命化対策支援事業	40,200
○武家屋敷茅屋根葺き替え事業	11,825
○まちづくり推進事業 (まちづくり交付金・地区計画策定支援)	8,672

令和3年度一般会計・特別会計等予算総括表

(単位:千円)

区 分 会 計 別	令和3年度	令和2年度	現計予算額	比 較 増 減			
	当初予算(A)	当初予算(B)	12月補正(C)	(A)－(B)	増減率(%)	(A)－(C)	増減率(%)
一般会計	14,501,184	14,105,111	20,005,770	396,073	2.8	△ 5,504,586	△ 27.5
特別会計							
国民健康保険	3,677,640	3,793,756	3,829,240	△ 116,116	△ 3.1	△ 151,600	△ 4.0
介護保険	3,933,659	3,704,716	3,793,868	228,943	6.2	139,791	3.7
後期高齢者医療	410,765	408,657	428,648	2,108	0.5	△ 17,883	△ 4.2
特別会計計	8,022,064	7,907,129	8,051,756	114,935	1.5	△ 29,692	△ 0.4
合 計	22,523,248	22,012,240	28,057,526	511,008	2.3	△ 5,534,278	△ 19.7

企業会計

水道事業会計	1,153,316	1,278,767	1,278,767	△ 125,451	△ 9.8	△ 125,451	△ 9.8
下水道事業会計	1,845,429	1,799,783	1,811,959	45,646	2.5	33,470	1.8

注:企業会計については収益的支出+資本的支出額

[別紙1]

令和3年2月議会 記者会見資料

令和2年度2月補正予算・令和3年度当初予算関係

公園施設長寿命化対策支援事業

担当：建設部都市整備課

益岡公園は、市内中心部に位置する総合公園として、市のシンボルとなる白石城が復元築城された歴史と緑を活かした安心してくつろげる空間として、市民の皆様方のもとより、県内外から多くの皆様方に利用され親しまれている、広さ8haを有する総合公園です。

本施設は、野球場やテニスコートの運動施設を備え、市民の健康増進を図るとともに、災害時の避難場としての機能も有しておりますが、平成27年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、利用者の安全安心を確保するため、経年劣化が激しい(平成11年開設)テニスコートの改修を行います。

○事業概要

- 1 実施場所 益岡公園テニスコート及び駐車場
- 2 整備計画名 安全・安心で魅力あるしろいしの都市公園づくり
- 3 事業年度 令和2年度(補正)～令和5年度
- 4 全体事業費 1億2千万円
- 5 予算額

【令和2年度2月補正予算】

[歳入]	国庫支出金				20,000千円
	地方債				20,000千円
	一般財源				300千円
[歳出]	8款 土木費	4項 都市計画費	2目 公園費		
	2事業 公園維持管理経費				
	12節 委託料	測量設計等委託料			3,950千円
	14節 工事請負費	公園施設長寿命化対策工事			36,350千円
				計	40,300千円

【令和3年度当初予算】

[歳入]	国庫支出金				20,000千円
	地方債				18,000千円
	一般財源				2,200千円
[歳出]	8款 土木費	4項 都市計画費	2目 公園費		
	2事業 公園維持管理経費				
	14節 工事請負費	公園施設長寿命化対策工事			40,200千円

令和3年2月議会 記者会見資料
 令和3年度当初予算関係

白石学びの環境づくり事業 (学力向上プロジェクト事業の充実)

担当：教育委員会学校管理課

平成31（令和元）年度からスタートした「白石市学力向上プロジェクト」において、様々な取組を行ってまいりましたが、令和3年度も新たに以下の取組を行います。

○事業概要

◆漢字検定・数学検定への受験補助(新規)

全国規模で実施されている漢字検定や数学検定の検定料について、市が半額の補助を行うことで、学習意欲の向上や学習習慣の定着を図ることを目的として実施します。市内に住所を有する全小・中学生を対象とし、受験級や補助回数の制限は設けません。

◆その他の継続事業

- ・白石市独自の学力調査の実施
- ・教育アドバイザーによる研修会等の実施
- ・中学生校内実力テストの受験料補助

[歳入] 県支出金

学力向上マネジメント支援事業委託金 4,650千円

[歳出] 10款 教育費 1項 教育総務費 3目 教育振興費

7事業 学力向上プロジェクト事業

8節 旅費 65千円

10節 需用費 694千円

12節 委託料 9,511千円

学力調査業務委託料 3,443千円

漢字検定受験業務委託料 518千円

数学算数検定受験業務委託料 653千円

白石市学力・学習状況調査業務委託料 690千円

校内実力テスト実施委託料 3,707千円

教育アドバイザー業務委託料 500千円

13節 使用料 55千円

合計 10,325千円

令和3年2月議会 記者会見資料
 令和3年度当初予算関係

外国語・国際理解教育推進事業

担当：教育委員会学校管理課

本市の将来を担う子供たちが、他国との歴史や文化の相違を理解・尊重し、共に生きる力、コミュニケーション能力を身に付けることをねらいとし、本事業を実施してまいりました。現在、市内全小・中学校で「外国語」及び「外国語活動」の教科等において、教育課程特例校（いわゆる英語特区）の申請中であり、「生きて働く英語力」の育成を図るとともに、国際的視野をもった人づくりを推進します。

○事業概要

- 1 英語特区の指定を受けた英語教育の実践
- 2 公立幼稚園へのALT配置日数の増
- 3 英語実用技能検定の検定料に対する補助（継続）
- 4 オンラインを視野に入れた国際交流の実施
- 5 外国語指導助手（ALT）の増員

[歳入] 諸収入

英語検定受験料保護者負担金	9 1 1 千円
---------------	----------

[歳出] 10款 教育費 1項 教育総務費 3目 教育振興費

20事業 外国語・国際理解教育推進事業

1節	報酬	5, 4 2 7 千円
3節	職員手当	4 6 9 千円
4節	共済費	1, 8 0 7 千円
8節	旅費	5 1 6 千円
10節	需用費	9 千円
12節	委託料	2 3, 7 9 3 千円
	外国語指導助手派遣業務委託料	2 1, 9 6 9 千円
	英語検定受験業務委託料	1, 8 2 4 千円
13節	使用料	4 9 6 千円
	合計	3 2, 5 1 7 千円

令和3年2月議会 記者会見資料
 令和3年度当初予算関係

スマートインターチェンジ整備事業

担当：建設部建設課

昨年10月、白石市のヒト・モノの流れを生み出す施策として進めている「(仮称)白石中央スマートインターチェンジ」は、整備の必要性を認められ国から新規事業箇所に採択されました。本市が一層の成長を成し遂げていくためには、地域間のネットワークを強化するための幹線道路をはじめとする社会基盤の整備が必要不可欠であり、特にスマートインターチェンジの整備は、交流人口や関係人口の拡大と円滑な物流の確保など、地域間の相互連携により相乗効果を生み出す「地域活性化の大きな起爆剤」と考えており、各方面から大きな期待を寄せられています。

「(仮称)白石中央スマートインターチェンジ」が整備されれば、東北縦貫自動車道のさらなる有効活用が図られ、新たな企業誘致の実現や企業活動の支援をはじめ、中心市街地の活性化や観光振興など、さまざまな効果が期待できることから、関係機関と連携し早期完成を目指していきます。

○事業概要

- 1 事業場所 白石市大平中目地内
- 2 事業概要 道路詳細測量設計業務（スマートICに接続する道路部分）

[歳入] 国庫補助金

地域連携道路事業費補助金	41,800千円
地方債	30,700千円
一般財源	4,586千円
計	77,086千円

[歳出] 8款 土木費 2項 道路橋梁費

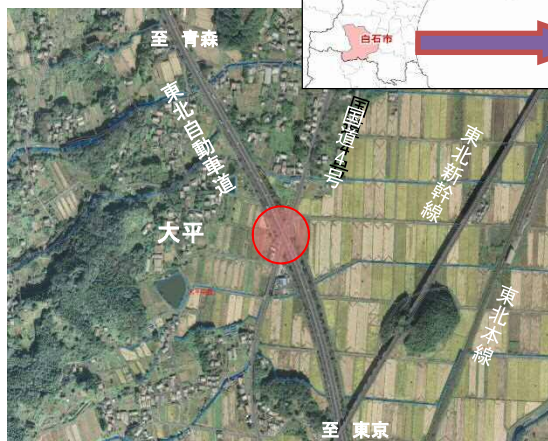
6目 スマートインターチェンジ整備事業

2事業 スマートインターチェンジ整備事業

7節 報償費	50千円
8節 旅費	876千円
10節 需用費	40千円
11節 役務費	20千円
12節 委託料	76,100千円
計	77,086千円

「(仮称)白石中央スマートインターチェンジ」の概要

■位置図



■スマートインターチェンジとは・・・

高速道路の本線やSA・PAなどから乗り降りができるように設置するインターチェンジであり、通行可能な車両(料金の支払い方法)をETC車載器を搭載した車両に限定しており、従来のICよりも低コストで整備・運用が可能。

■(仮称)白石中央スマートIC

- 【高速道名】 東北縦貫自動車道弘前線
- 【連結位置】 宮城県白石市
- 【連結形式】 本線直結型
- 【接続道路】
(上り)市道白石中央スマートインター1号線
(下り)市道白石中央スマートインター2号線
- 【運用形態】 24時間
- 【対象車種】 ETC車載器を搭載した全車種

■白石城 鬼小十郎まつり



■材木岩公園 国指定天然記念物



■期待される整備効果

【効果①】物流の効率化による基幹産業の支援と産業拠点の形成による企業誘致の促進や振興

東北道へのアクセスが向上し、物流が効率化されることで、白石市の基幹産業である製造業の支援が期待される。

【効果②】アクセス性向上による中心市街地の賑わい創出と交流人口の拡大

白石市の中心市街地へのアクセス性が高まることで、地域資源を活かした賑わい創出と交流人口の拡大が期待される。

【効果③】主要観光地へのアクセス向上と新たな周遊観光ルート形成による観光産業の活性化

白石市の中心エリアへのアクセス性が向上することで、国道113号沿線や西部エリアへの新たな周遊観光ルートが形成され、高速道路を活用した観光産業の活性化が期待される。

【効果④】東北道における交通事故対応の迅速化と幹線道路の渋滞緩和

国見IC～白石IC間は交通事故が多い区間であり、白石消防署は高速道路上の救急活動を白石IC経由で出動しているため現地到着時間を大きくロスしている。スマートICの整備により、現地到着時間が短縮されることで救急医療施設への搬送や車両火災時の消火活動が迅速化される。

令和3年2月議会 記者会見資料
令和3年度当初予算関係

武家屋敷茅屋根葺き替え事業

担当：総務部企画情報課

武家屋敷（片倉家中武家屋敷 旧小関家）は、平成5年3月の修理復原工事完成以降、当時の武士の生活を知ることができる貴重な文化遺産として、平成5年12月24日に宮城県の有形文化財に指定されました。

茅葺屋根につきましては、修理復原工事完成以降、定期的に差茅を実施し、適正な維持補修を行って参りましたが、完成から28年が経過し、茅葺屋根を支えている屋根材等にズレが生じてきていることから、令和3年度から2カ年で屋根全体の葺き替えを実施するものです。

○事業概要

1 工事名

武家屋敷茅屋根葺替工事

2 事業年度

令和3年度～令和4年度

3 工事内容

令和3年度 使用する材料の調達

令和4年度 葺き替え工事の実施

4 総事業費

29,001千円	令和3年度	11,825千円
	令和4年度	17,176千円

[歳入]

地方債	10,600千円
一般財源	1,225千円

[歳出] (令和3年度当初予算分)

2款 総務費	1項 総務管理費	19目 白石城関連費	
2事業 一般管理的経費			
14節 工事請負費			11,825千円

